

B A S T L



ABC

取扱い説明書

(株)アンブレラカンパニー

www.umbrella-company.jp

* この取扱説明書は株式会社アンブレラカンパニーが正規に販売する製品専用のオリジナル制作物です。

無断での利用、配布、複製などを固く禁じます。

ABC

6 CHANNEL MIXER

ABCはシンプルかつフレキシブルな6chの高品位ミキサーです。6系統の入力(A,B,C,D,E,Fチャンネル)を持ち、2系統の出力があります。出力は「A+B+C」と、「D+E+F」の2系統があり、「A+B+C出力」にプラグの接続がない場合には、「D+E+F」出力が6ch全ての信号をミックスして出力します。つまり「3ch×2系統のミキサー、または「6chのミキサー」としてフレキシブルな使用が可能になります。

基板上のジャンパー設定を変更すれば、A → D、B → E、C → Fにそれぞれ「個別に」内部ルーティングする設定も可能（チャンネルAに入力した信号は自動でチャンネルDにも入力される）。「ステレオ・ミキサー」にも応用できます（両方のアウトプットを使用して左右チャンネルは個別のボリュームコントロール）。

出荷時はオーディオ信号をミックスできるよう設計されていますが、半田によるジャンパーによって直流電圧を扱うことができるように変更が可能、その場合にはCVミキサーとして機能させることができます。

シンプルで音質も良く、さらにフレキシブルな使用方法を選択できるユーロラック・モジュラーに最適なミキサーモジュールです。

Features

- ・ 6chミキサー
- ・ 6入力 (A,B,C,D,E,F)
- ・ 2出力 (A+B+CとD+E+F) (A+B+Cに接続がない場合は、D+E+Fが6chのミックスを出力)
- ・ 3ジャンパー設定 (A to D, B to E, C to F) ステレオミキシング
- ・ 出荷時はオーディオ・ミキサーとして使用できる設定
- ・ 半田でジャンパすることでCV信号を取り扱えるCVミキサーにも変更が可能

Technical details

- ・ 5HP
- ・ 35mm deep
- ・ 消費電流 +12: <10mA, -12: <10mA
- ・ 10ピン・パワー・コネクタ

《重要な注意事項》

本モジュールをユーロラックの電源フレームラックに組み込む場合には、必ず電源ケーブルを電源フレームラックから抜いた状態で行ってください！また接続には必ず付属のリボンケーブルをご使用ください。接続する際はコネクタを接続する向きを絶対に間違えないように、細心の注意を払ってください。必ず複数回確認し、間違いないことをお確かめいただいてから接続するようにしてください。

赤いケーブルがモジュール、バスボード共に-12V側です。

以下を再度ご確認ください

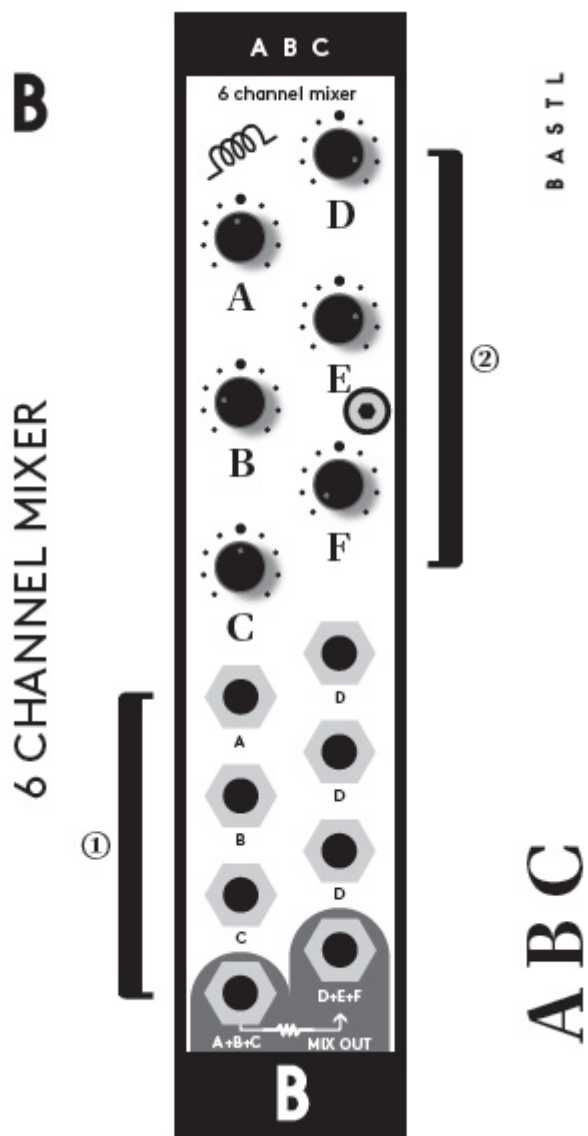
- 1、ラックがユーロラック規格の標準的なものか？
- 2、+12V、-12Vレールのバスボード規格か？
- 3、電源レールは最大の消費電流を超えていないか？

BASTL INSTRUMENTSの製品にはPTCヒューズとダイオードによる保護回路を搭載していますが、間違った接続や使用によるダメージはユーザーの責任となりますので、よくご確認の上でご利用ください。また電源が入った状態で回路や電源バスを手で触れることは、たいへん危険ですので、くれぐれもご注意ください。

B I

Instruction

*以下の操作説明は、各イラスト図（フロントパネル、基板）の番号に対応しています。



① ABCはシンプルな6chのミキサーです。6系統の入力(A,B,C,D,E,Fチャンネル)を持ち、2系統の出力があります。出力は「A+B+C」と、「D+E+F」の2系統があり、「A+B+C出力」にプラグの接続がない場合には、「D+E+F」出力が6chの全ての信号をミックスして出力します。また、基板上のジャンパー設定により2X3のステレオミキサーとしても機能します。

② 各チャンネルにはボリュームノブがあります。

③ ABCはオーディオ信号をミックスできるよう設計されていますが、半田によるジャンパーによって直流電圧を扱うことができるようになり、CVミキサーとしても機能します。

基板上の半田ジャンパーをコネクต์することで、A+B+CミックスをCVミックスに変更します。これらの半田ジャンパーはカップリングキャパシターをバイパスしてACカップリングから、DCカップリングに変更します。

④ 基板上のジャンパー設定では、A to D、B to E、C to Fの設定が可能で本機を3chのステレオミキサーにも設定できます。A+B+CをL、D+E+FをRに使用します。A (B/C) に入力するとLとRに信号を送る事ができます。A (B/C) とD(E/F)をペアで使用するとステレオ信号を扱えます。音量や定位、バランスは各ボリュームノブで行います。

出荷時はジャンパーが片方だけに架かったセッティングになっています。ステレオ使用時は両方に架かるように組み替えてください。

